

平成 15 年 7 月 17 日
有線ブロードネットワークス

USEN 事業ポートフォリオの再編成を推進
～選択と集中を進めるとともに、各事業における最適戦略を遂行～

株式会社有線ブロードネットワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宇野康秀、以下 USEN）はこのたびインターネット事業の一部であるショッピングモール事業の運営を楽天株式会社（以下、楽天）に事業移管することを両社で発表しました。この事業移管に関し、USEN 全体の企業戦略と併せて以下補足説明いたします。

<USEN の事業ポートフォリオの再編成と各事業戦略の確認>

USEN は 5 つの事業セグメントに関し、全社戦略における位置付けと各事業における戦略を明確にしています。

(1)放送事業：現在の主力事業であり USEN 全体の中でキャッシュを生み出す源泉の事業と位置付ける。非効率エリアにおける電柱 250 万本より同軸ケーブルを撤去するプロジェクトを完遂、営業支店の統廃合等と合わせて年間約 80 億円のコスト削減を達成した。

(2)カラオケ事業：ユーズ・BMB エンタテインメントに事業を集約、同社を中核に合併・買収を推進しカラオケ市場においてトップシェアを目指す。

(3)店舗事業：カラオケボックスの運営を中心に、カラオケ事業等既存の事業において獲得したノウハウを転用し、ロケーションビジネスの橋頭堡とする。

(4)インターネット事業：主力である放送事業の補完的の事業と位置付ける。120 万超の有線放送顧客が業務上必要とするインターネットサービスを提供する。

(5)ブロードバンド事業：将来の基幹事業とすべく積極的に先行投資を行なう事業と位置付ける。平成 16 年の早期にユーザ数 20 万件強を達成し、この段階において単月次黒字化（顧客獲得費用除く）を目指す。大都市圏に存在するマンション、オフィスビルへの光ファイバ入線を強みとし、先行的にホームパスを確保、ブロードバンドインターネット領域のみならず、放送領域等のアクセス網としても将来の成長を目指す。

<今回の事業移管について>

主力事業の補完的役割を持つインターネット事業においては、個別事業ごとに事業売却や完全に本業支援をする形態へと事業モデルの変更を行なっています。先般、サミー株式会社に売却完了した株式会社ユーズモバイル（旧社名、現社名：株式会社サミーネットワークス）に続き、主力事業との関連が強固ではないモール事業の運営を楽天に移管することで USEN の事業ポートフォリオにおける選択と集中を一步進めたこととなります。今後、モールに関連するサービスは商材として楽天から提供を受けることで有線放送顧客の様々なニーズに沿った付加サービスの提供は維持できるものと考えます。

今回の相互協力体制の構築により、USEN は自社経営資源を主力事業に集中することが可能になるとともに、将来の基幹事業となるブロードバンド事業に関し、楽天から販売協力を得られることは全社的観点から多大な効果があると考えます。

今後、更に会社全体として事業ポートフォリオの整理・再編成を進めるとともに、課題であるブロードバンド事業の早期黒字化を実現し、財務的構造転換も進めていきます。

【本補足資料に関するお問い合わせ】

株式会社有線ブロードネットワークス 広報担当 鈴木・植田

T E L : 03-3509-7104 F A X : 03-3509-7103

E-mail : public-relations@tk.usen.co.jp